

S I D R

滋賀県感染症情報

SHIGA Infectious Diseases Report

《週報》

第 7 巻第 22 号

第 22 週 (5月28日 ~ 6月3日)

発行年月日:平成19年(2007年) 6月 7日

発行 :滋賀県衛生科学センター内
滋賀県感染症情報センター

電話 077-537-7438 FAX 077-537-5548

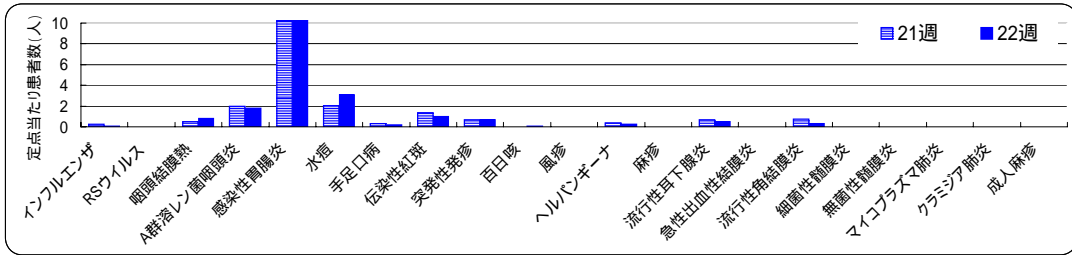
今週の感染症発生動向

滋賀県における麻しんの発生状況 滋賀県における全数報告感染症の概要(平成19年第18~22週)

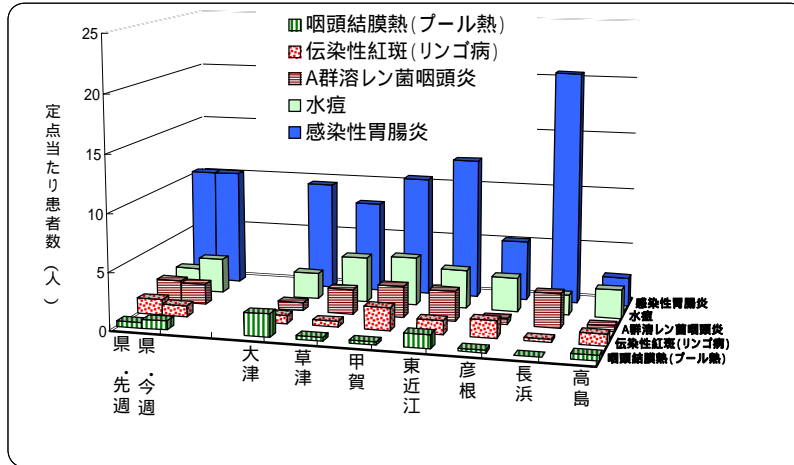
定点把握の対象となる五類感染症の発生状況は、平成19年第21週(5月21日~5月27日)の報告数とほぼ同じです。先週より増加した疾患は咽頭結膜熱(プール熱)、水痘および百日咳で、他の疾患については減少または横ばいとなっています(詳細については、疾病別定点当たり患者数のグラフ参照)。

「感染症発生動向調査に基づく感染症の警報・注意報システム」による警報および注意報の発生状況は下記の表(滋賀県における保健所管内別警報および注意報発生状況)のとおりです。全数把握対象疾患では、二類感染症の結核 5名の届出がありました。

定点把握の対象となる五類感染症の疾患別発生状況(前週との比較、定点当たり患者数)



上位5疾患の発生状況(定点把握対象五類感染症、第22週、定点当たり患者数)



県全体における上位疾患の発生状況についてはグラフに示すとおり、感染性胃腸炎、水痘、A群溶レン菌咽頭炎、伝染性紅斑(リンゴ病)咽頭結膜熱(プール熱)の順に多くなっています。感染性胃腸炎の発生は長浜で先週に引き続き増加し、咽頭結膜熱(プール熱)は大津および東近江で多くなっています。

滋賀県における保健所管内別警報および注意報発生状況(平成19年第22週)

疾患名	県	保健所管内別							警報開始基準値	警報継続基準値	注意報開始基準値
		大津	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島			
咽頭結膜熱(プール熱)											
定点当たり患者数(人)	0.78	2.0	0.33	0.25	1.20	0.25	0	0.50	2.00	0.10	
感染性胃腸炎											
定点当たり患者数(人)	10.22	9.57	8.00	10.5	12.4	5.25	20.5	2.50	20.00	12.00	
水痘											
定点当たり患者数(人)	3.06	2.29	4.00	4.25	3.40	3.00	1.75	2.50	7.00	4.00	4.00
伝染性紅斑(リンゴ病)											
定点当たり患者数(人)	0.97	0.71	0.50	2.00	1.20	1.50	0.25	1.00	2.00	1.00	
百日咳											
定点当たり患者数(人)	0.06	0	0	0	0	0	0	1.00	1.00	0.10	

★ 警報開始基準値または警報継続基準値を超えています。

★ 注意報開始基準値を超えています。

* 基準値はすべて定点当たり患者数(人)です。また、注意報の数字が入っていないものは、注意報の対象外という意味です。

1) 全数報告の感染症(一類～五類)

滋賀県内の医療機関において、医師が感染症法で定められている一～四類および五類感染症に該当する患者を診断したとき医師は保健所に届出ることになっています。このことを全数報告といいます。届出により、滋賀県内で発生している感染症法で定められた一～四類および五類感染症を把握することができます。

平成18年12月8日に感染症法の一部改正が公布され、平成19年4月1日から施行されています。同法に基づき結核は二類感染症に、またコレラ、細菌性赤痢は三類感染症に分類されています。

感染症類型	疾患名	報告数 (22週)	累積報告数		平成18年報告数	
			滋賀 (22週)	全国 (22週)	滋賀	全国 ^{(*)1}
一類感染症	報告なし	0	0	0	0	0
二類感染症	結核	5	43	2776	-	-
三類感染症	コレラ	0	0	8	1	47
	細菌性赤痢	0	^{(*)2} 2	198	^{(*)3} 6	483
	腸管出血性大腸菌感染症	0	8	513	54	3,910
四類感染症	E型肝炎	0	0	25	2	70
	A型肝炎	0	0	77	21	316
	デング熱	0	1	22	0	57
	レジオネラ症	0	1	165	11	508
五類感染症	アメーバ赤痢	0	7	305	8	738
	ウイルス性肝炎	0	1	70	0	275
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	2	67	0	177
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	45	6	107
	後天性免疫不全症候群	0	5	541	8	1,301
	ジアルジア症	0	0	17	1	87
	梅毒	0	0	229	4	625
	破傷風	0	0	30	1	115
	急性脳炎	0	1	101	1	160

*1:平成18年報告数は、平成19年に滋賀県で報告された疾患を対象としています。

*2:検査法第26条の3に基づく検疫所長から滋賀県知事への通知分です。

*3:検査法第26条の3に基づく検疫所長から滋賀県知事への通知分2件を含みます。

全国における全数報告感染症の発生状況 - 第22週(5/28～6/3) -

一類感染症: 報告なし	四類感染症: オウム病 2例	五類感染症: 後天性免疫不全症候群 9例
二類感染症: 結核 254例	つつが虫病 4例	クロイツフェルト・ヤコブ病 2例
三類感染症: 細菌性赤痢 7例	日本紅斑熱 3例	バンコマイシン耐性
コレラ 1例	マラリア 1例	腸球菌感染症 1例
腸チフス 1例	レジオネラ症 11例	急性脳炎 3例
腸管出血性大腸菌感染症 105例	五類感染症: アメーバ赤痢 7例	破傷風 3例
	梅毒 10例	

2) 定点把握の対象となる五類感染症

感染症発生動向調査事業に係る報告のために、滋賀県が指定した「指定届出機関」を定点医療機関(定点)といい、その定点から報告される感染症です。また、定点当たり患者数とは、一週間を単位として一カ所の定点から何人の患者が報告されているかを示したものです(患者報告数/定点医療機関数)。

例えば、一つの疾患(インフルエンザ等)について、一週間に53カ所の定点*から総数53人の報告があれば、定点当たり患者数は1.00となります。*疾患により定点数は異なります。

(1) 疾病別・週別発生状況(平成19年第17～22週、4/22～6/3)

疾患名	定点当たり患者数 (前週より増加 前週と同じ 前週より減少)										
	17週	18週	19週	20週	21週	22週	週				
	(4/22～)	(4/30～)	(5/7～)	(5/14～)	(5/21～)	(5/28～)	18	19	20	21	22
インフルエンザ	3.85	2.00	0.96	0.40	0.25	0.06					
RSウイルス感染症	0	0	0	0	0.03	0					
咽頭結膜熱	0.39	0.06	0.41	0.47	0.47	0.78					
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.81	0.52	1.16	1.38	1.97	1.78					
感染性胃腸炎	9.77	6.74	8.50	9.44	10.22	10.22					
水痘	1.94	2.39	3.13	2.06	2.06	3.06					
手足口病	0.03	0	0.16	0.16	0.31	0.16					
伝染性紅斑(リンゴ病)	1.00	0.45	1.13	0.97	1.38	0.97					
突発性発しん	0.39	0.35	0.38	0.59	0.66	0.66					
百日咳	0	0	0	0	0.03	0.06					
風しん(三日はしか)	0	0	0	0	0.03	0					
ヘルパンギーナ	0.06	0.03	0.09	0.03	0.34	0.25					
麻しん(成人麻しんを除く)	0.03	0	0	0.03	0	0					
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.39	0.35	0.34	0.63	0.69	0.47					
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0					
流行性角結膜炎	0.43	0.71	1.00	1.14	0.71	0.29					
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0					
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0					
マイコプラズマ肺炎	0	0.14	0	0.14	0	0					
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0					
成人麻しん	0	0	0	0	0	0					

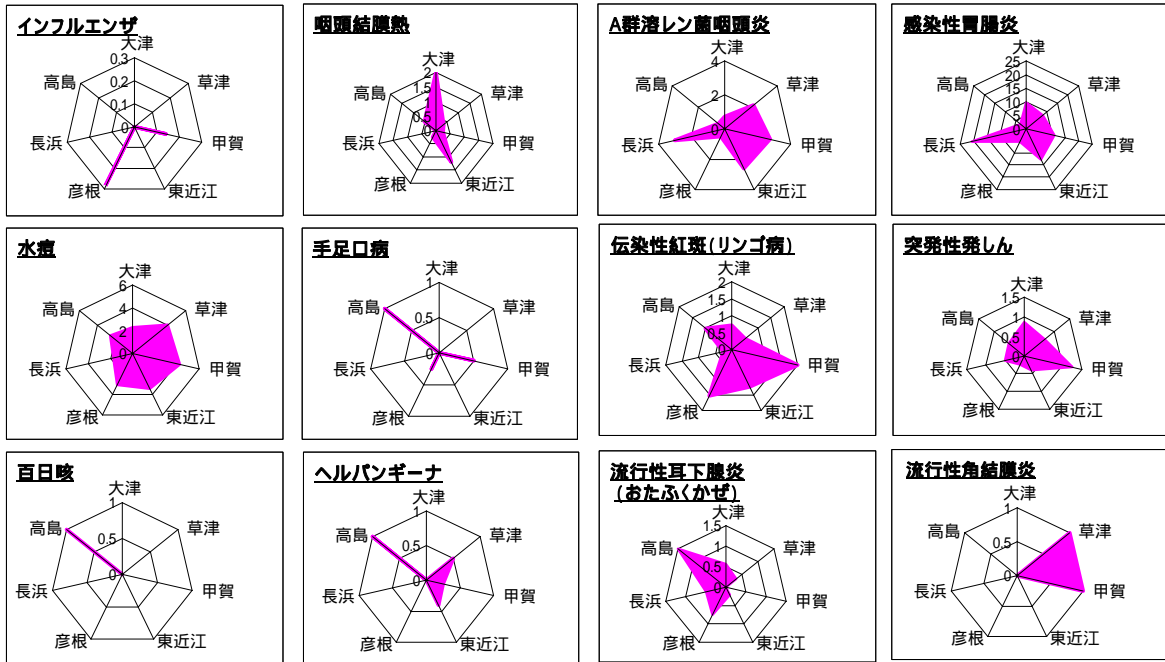
(2)疾病別・保健所管内別発生状況(第22週, 5/28～6/3)

疾患名	定点当たり患者数(県・保健所管内別)								疾患別発生状況 (県全体)
	県	大津	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島	
インフルエンザ	0.06	0	0	0.14	0	0.29	0	0	
RSウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	
咽頭結膜熱	0.78	2.00	0.33	0.25	1.20	0.25	0	0.50	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.78	0.71	2.17	2.75	2.60	0.50	3.00	0.50	
感染性胃腸炎	10.22	9.57	8.00	10.50	12.40	5.25	20.50	2.50	
水痘	3.06	2.29	4.00	4.25	3.40	3.00	1.75	2.50	
手足口病	0.16	0	0	0.50	0	0.25	0	1.00	
伝染性紅斑(リンゴ病)	0.97	0.71	0.50	2.00	1.20	1.50	0.25	1.00	
突発性発しん	0.66	0.86	0.67	1.25	0.40	0.25	0.50	0.50	
百日咳	0.06	0	0	0	0	0	0	1.00	
風しん(三日はしか)	0	0	0	0	0	0	0	0	
ヘルパンギーナ	0.25	0	0.50	0.25	0.40	0	0	1.00	
麻しん(成人麻しんを除く)	0	0	0	0	0	0	0	0	
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.47	0.57	0.33	0	0.20	0.75	0.50	1.50	
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
流行性角結膜炎	0.29	0	1.00	1.00	0	0	0	0	
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
マイコプラズマ肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0	
成人麻しん	0	0	0	0	0	0	0	0	

■ は定点当たり患者数が先週より増加
 ■ は警報発生中
 ■ は注意報発生中

0 3 6 9 12
定点当たり患者数(人)

疾患別・保健所管内別発生状況(定点当たり患者数)



今週の発生状況：

- 咽頭結膜熱----- 大津および東近江で増加し、大津では警報開始基準値(2.00)を超えました。
- A群溶レン菌咽頭炎---- 県全体では先週より減少していますが、東近江で先週より多くなっています。
- 感染性胃腸炎----- 大部分の保健所管内で先週より減少していますが、大津および長浜で増加しています。特に、長浜では警報開始基準値(20.00)を超えました。
- 水痘----- 大部分の保健所管内で先週より増加し、特に草津および甲賀で注意報の開始基準値(4.00)を超えました。
- 伝染性紅斑----- 県全体では先週より減少していますが、大津、東近江、彦根および高島で先週より増加しています。特に甲賀では警報継続基準値(1.00)を超えており、10週連続して警
- 流行性耳下腺炎----- 先週多かった東近江では減少しています。
- 百日咳----- 高島から報告されており、警報開始基準値(1.00)を超えました。年齢は～11ヶ月および5歳です。

滋賀県における全数報告感染症の概要 (平成19年第18～22週、4/30～6/3)

感染症型	疾患名	1～17週の 累積報告数	18～22週の 報告年月日	概 要			
				菌種 血清型等	推定感染地域	推定感染原因・ 感染経路等	
一類感染症	報告なし						
二類感染症	結核	22	H1953 H1958 H19511 H19515 H19516 H19516 H19516 H19516 H19517 H19517 H19523 H19523 H19524 H19525 H19526 H19526 H19529 H19531 H19531 H19531 H1961	結核性肺炎 結核性肺炎 肺結核 肺結核 肺結核 肺結核 結核性肺炎 肺結核 リンパ管結節 肺結核 肺結核 肺結核 肺結核 肺結核 肺結核 肺結核 肺結核 肺結核 肺結核 肺結核 肺結核 肺結核	日本国内 日本国内	不明 不明 飛末飛沫感染 飛末飛沫感染 飛末飛沫感染 不明 飛末飛沫感染 飛末飛沫感染 不明 不明 その他 飛末飛沫感染 その他 その他 飛末飛沫感染 飛末飛沫感染 不明 不明 飛末飛沫感染 その他 その他	
三類感染症	細菌性赤痢 (+H19331は二類感染症)	1(*)	H19527	菌種 ソネ	中華人民共和国 日本国内	経口感染 (果物の摂取)	
	(*)検査法26条の1に基づき検査所長から滋賀県知事への通知による						
	腸管出血性大腸菌感染症	4	H1958	血清型 O157 産生毒素型 VT1(+)/VT2(+)	日本国内	不明	
			H19522	血清型 O157 産生毒素型 VT1(+)/VT2(+)	日本国内	不明	
			H19525	血清型 O157 産生毒素型 VT1(+)/VT2(+)	日本国内	5月2日の患者の同居家族	
H19525			血清型 O157 産生毒素型 VT1(+)/VT2(+)	日本国内	5月2日の患者の同居家族		
* VT1:ペロ毒素型 VT2:ペロ毒素型							
四類感染症	デング熱	0	H1959	血清型 1型	インドネシア	動物咬 昆虫からの感染	
	レジオネラ症	1	報告なし				
五類感染症	アメーバ筋痛	5	H1952 H19516	腸管アメーバ症 腸管アメーバ症	ヨーロッパ インドネシア 日本国内	海水にて(結核菌あり) 不明	
	ウイルス性肝炎	0	H1952	E型	日本国内	異性間性的接触	
	クロイツフェルト・ヤコブ病	2	報告なし				
	後天性免疫不全症候群	3	H1952	無症候期	日本国内	異性間性的接触	
			H19522	AIDS	日本国内	異性間性的接触	
	急性細菌炎	1	報告なし				

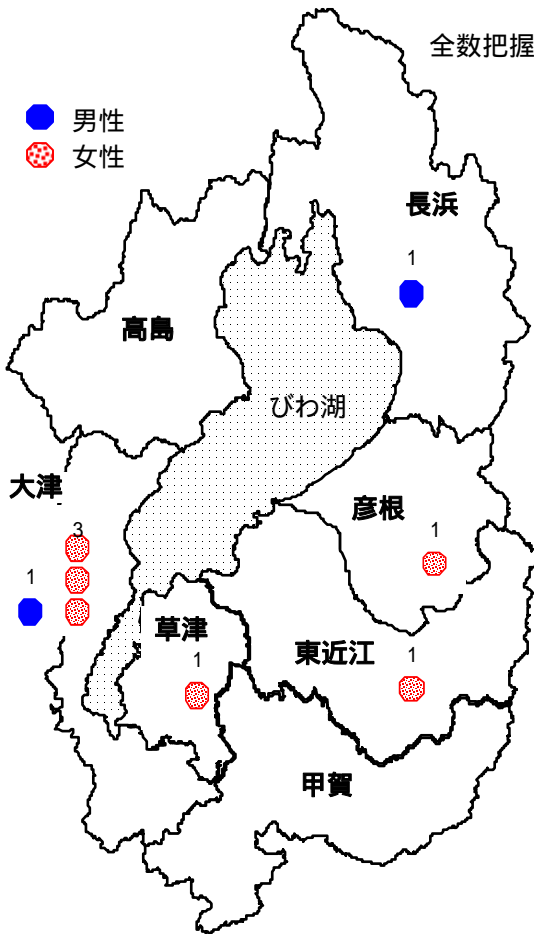
滋賀県における麻しんの発生状況

1) 定点把握調査における発生状況(H13.1.1～H19.6.6、滋賀県)

	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19
患者報告数(人)	169	94	20	10	10	10	3

定点把握調査: 滋賀県内で指定された医療機関(定点)からの報告数を集計した人数です。

2) 全数把握調査における発生状況(H19.3.26～H19.6.6、滋賀県)

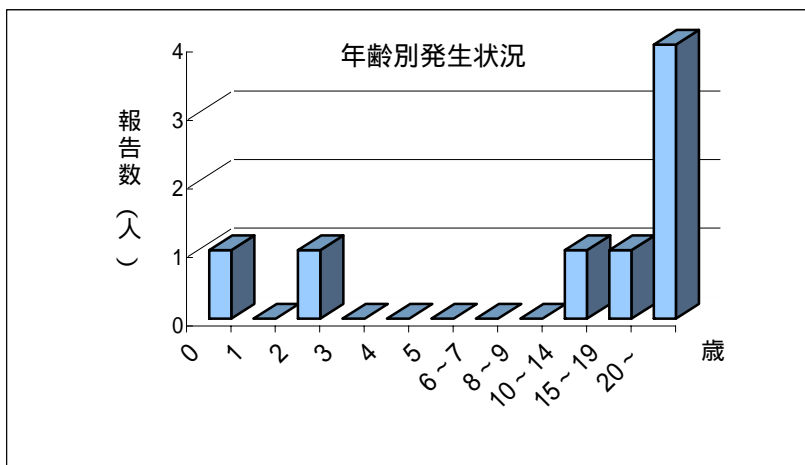


全数把握調査: 滋賀県内の全ての医療機関からの報告数を集計した人数です(定点からの報告数を含みます)。

保健所管内別・性別発生状況

保健所	性別	報告数(人)
大津	男性	1
	女性	3
草津	男性	
	女性	1
甲賀	男性	
	女性	
東近江	男性	
	女性	1
彦根	男性	
	女性	1
長浜	男性	1
	女性	
高島	男性	
	女性	
計		8

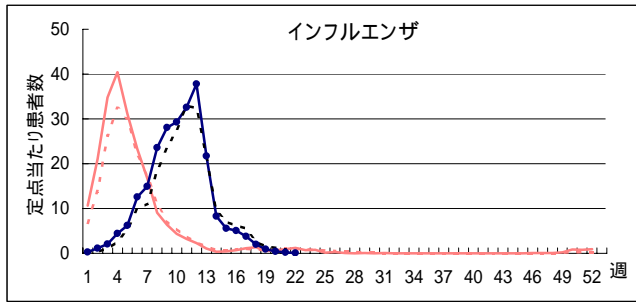
* 表中の空白は報告数 0人



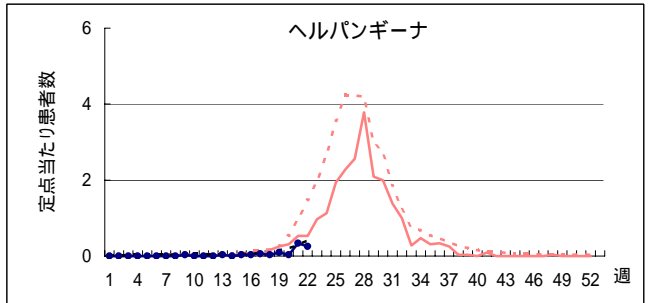
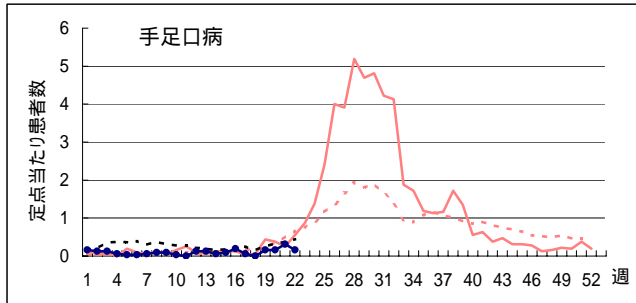
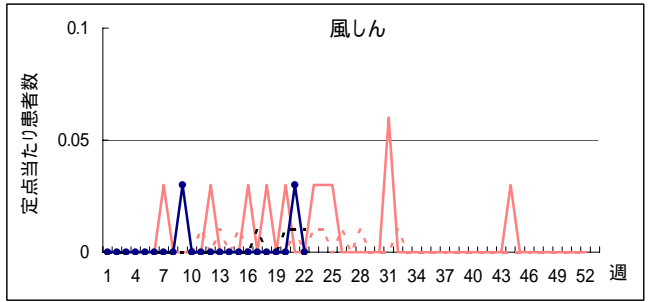
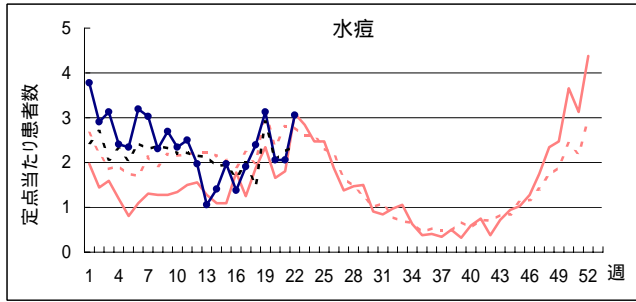
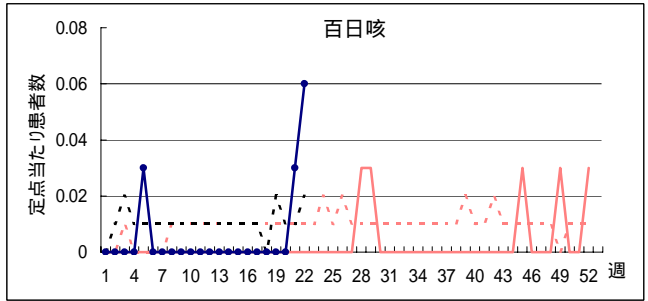
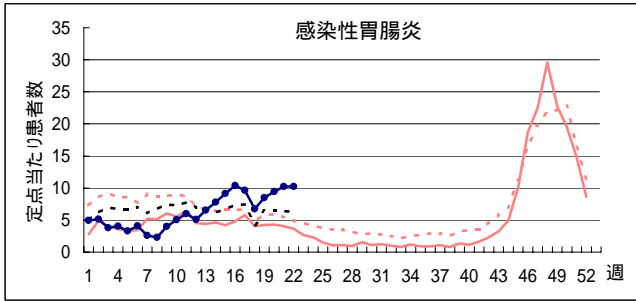
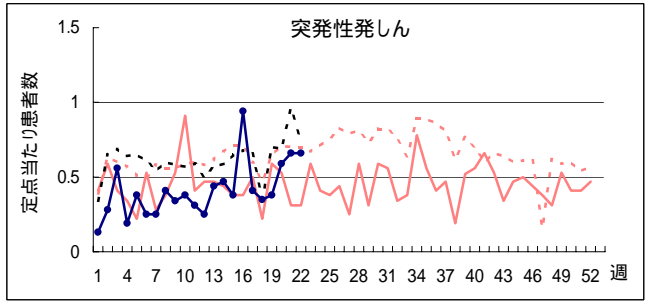
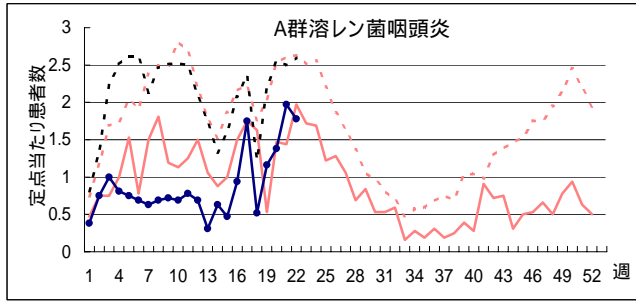
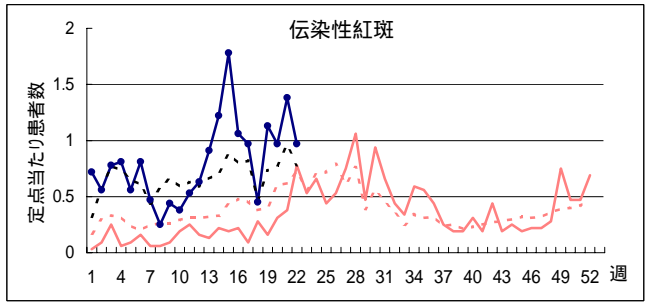
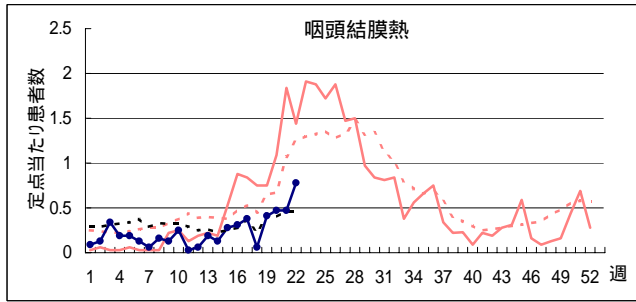
年齢別発生状況

年齢	報告数(人)
0	1
1	0
2	1
3	0
4	0
5	0
6～7	0
8～9	0
10～14	1
15～19	1
20～	4
計	8

疾病別定点当たり患者数(平成19年第1週～第22週、H19.1.1～H19.6.3)



H18 { 滋賀 ————
 全国
 H19 { 滋賀 ●●●●●●
 全国



疾病別定点当たり患者数(平成19年第1週～第22週、H19.1.1～H19.6.3)

H18
 〔 滋賀 ————
 全国 - - - - -

H19
 〔 滋賀 ●—●—●—
 全国 - - - - -

